

地図・地形図編

系統性の視点

「地域学習」が、小・中・高等学校の地理学習に位置付けられている。この学習におけるねらいは、小学校では、身近な地域の特色ある地形や土地利用、公共施設などの場所と働きを理解させる。次に中学校では、身近な地域の地理的事象を取り上げながら、観察や調査などの学習活動を通して、地域的特色をとらえる視点や方法、地理的なまとめ方や学び方の基礎を身に付けさせる。さらに、高等学校では、地域の規模に応じて各地域の多様な特色を理解させたり、地誌的にとらえる視点や方法を身に付けさせることをねらいとしている。

この「地域学習」における中心的な教材が、「地図」「地形図」である。本部会では、小・中・高等学校における「地域学習」を通して、「地図」「地形図」の活用における系統性をとらえ、各校種における指導の重点を提示していく。そして、基礎・基本を確実に定着できるようにしていくことをめざしていく。